

# 学校便り

滑川市立西部小学校 R3. 4. 30

学校教育目標



「三つの花」を咲かせる西部っ子

ここにこ花

楽しくあいさつができる子

ほかほか花

相手の心を思いやることができる子

きらりん花

キラキラと自分らしく輝く子

## 「明日も行きたくなる学校」に

令和3年度がスタートしました。卒業生66名が巣立ち、何名か転出入があり、入学生83名を迎えた結果、全校児童数 412 名になりました。400名を超えるのは、4年ぶりです。児童数が減少していく学校が多い中、宅地造成等の影響で児童数が安定しているようです。

さて、今年度の学校グランドデザインを保護者の皆様に配布いたしました。グランドデザインとは「学校の教育理念や果たすべき役割を描いた経営全体構想」という意味です。そこに、目指す学校像を「あしたも行きたくなる学校」としました。

### あ=安全・安心な学校

- ・命を守るため、安全指導の徹底と防災教育を推進する
- ・子供の人権を大切にし、いじめ等の問題行動の防止に努める

### じ=自分の居場所がある学校

- ・一人一人の教育的ニーズに応じた支援を工夫する
- ・みんなに認めてもらえる、あたたかく落ち着いた教育環境をつくる

### た=確かな学力を育む学校

- ・「ねらいを明確に」「振り返りを大切に」した授業を展開する
- ・「分かった、できた」と思える授業を展開するため、ICT の活用、体験的活動等を取り入れる

### も=もっと開かれた学校

- ・地域の教育力や地域社会とのつながりを大切にし、ふるさとへの愛着と誇りを育てる
- ・ホームページ等により積極的に情報発信を行い、学校・家庭・地域の連携を強化する



「あしたも行きたくなる学校」とは、どんな学校なのか。子供たちも教職員も、一生懸命考えながら、4月から学校生活を送っています。逆のことを考えたら一番分かりやすいのですが、「もう行きたくない学校」とならないように、安全・安心で、自分の居場所があって、確かな学力を育む学校を目指しています。特に、「自分の居場所がある」というのが重要で、まずは、子供たちが所属する学級があたたかく落ち着いたものでなければなりません。先日、ある学級で担任が言葉を言い間違いをしました。その時、学級では笑いが起こり、ひとしきり笑った後、授業に戻ったそうです。その担任に、「その時起こった笑いは、あたたかいものでしたか」と確認したところ、「大丈夫です」と返事をされたので安心しました。担任であってもクラスメイトであっても、間違えることはあります。その時、笑いが起こったとしたら、それは嘲笑でないのか、笑われて傷付いた人はいないのかと配慮することが担任の役目です。安心して間違えることができる学級。間違えても楽しく笑い合い、認め許し合える学級。そんな学級づくりを目指していれば、子供たちは「ああ今日も楽しかった。あしたもがんばろう」と思えるでしょう。

さっそく、新型コロナウイルス感染防止のために、学習参観が中止となってしまいました。「もっと開かれた学校」を目指し、ホームページによる情報発信をこまめに行います。学習参観の代わりにとまではいきませんが、新しい学級での子供たちの学校生活をお知らせしましたので、是非ご覧ください。そして、お子さんと学校生活について話し合うきっかけとしてください。



令和3年度もどうぞよろしくお願いいたします

校長 上田 良美

# 全校で見守った入学式

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、卒業式に引き続き、入学式も参加者人数を制限して実施しました。2年生、3年生はリモートで各教室からの参加となりましたが、昨年と違って、今年は全校で新入生の入学をお祝いすることができました。



## めあてに向かって、いきいき活動する西部っ子



1年生



2年生



3年生



4年生



5年生



6年生

この他にも子供たちの日頃の学習の様子は、学校ホームページでもご覧になれますので、是非、楽しみにしてください。